

関東鉄道常総線沿線における地域公共交通活性化・再生総合事業

事業期間
20～22年度

「常総線を利用しやすくすること」「常総線による都心へのアクセスを向上させること」により、常総地域における鉄道とマイカーの交通モードの共存を図り、鉄道駅周辺を中心とする常総地域の活性化を目指す。

【常総線活性化支援協議会】

茨城県、下妻市、常総市、取手市、
守谷市、坂東市、筑西市、つくば
みらい市、八千代町、
関係商工会・商工会議所の代表
者、利用者代表、関東鉄道

事業の概要(22年度)

①利用促進イベントの開催 ウォーキング大会の開催

1,081千円

駅からウォーク夏

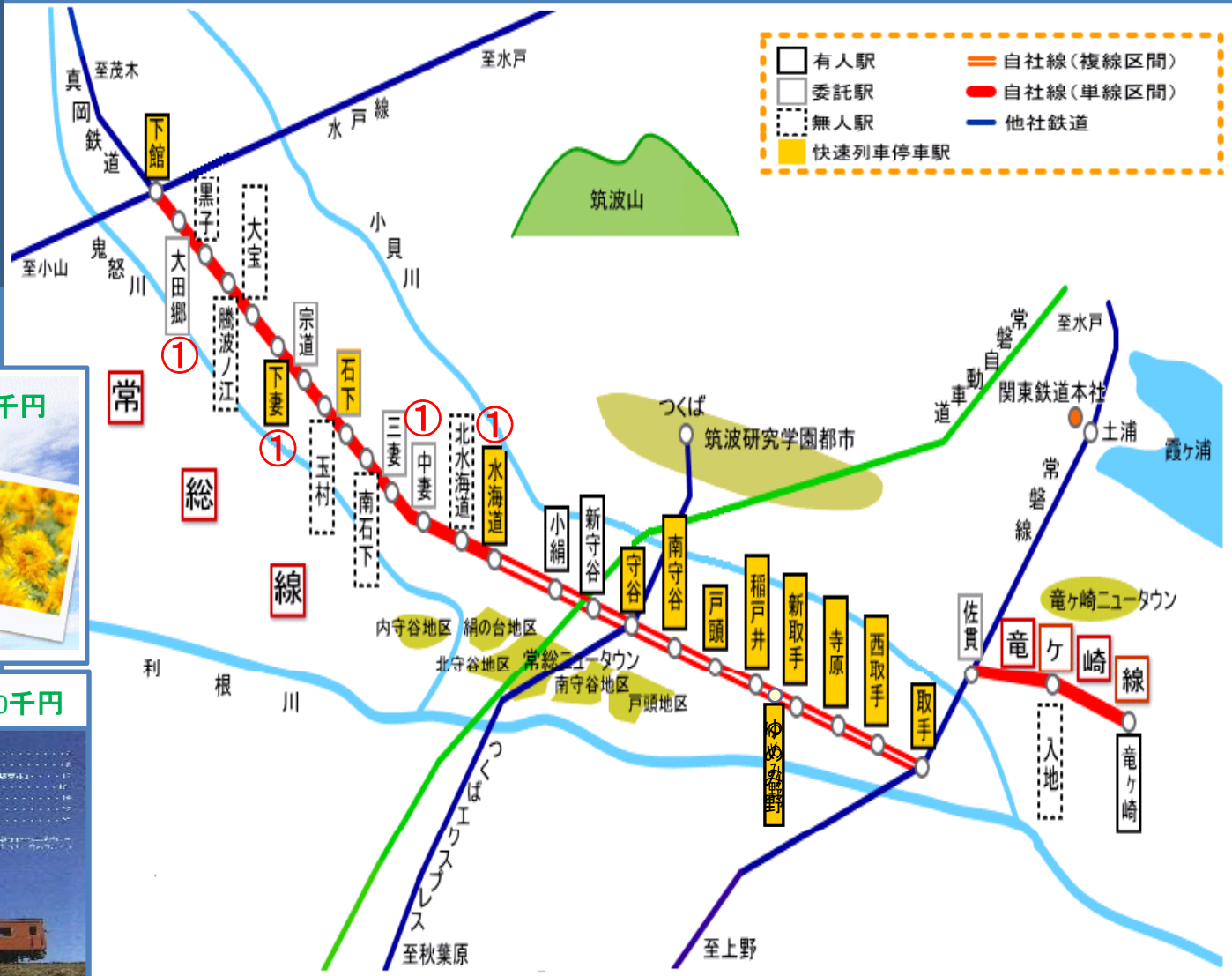
ひまわり畑から望む筑波山と
明野温泉で湯つたりの道



②沿線ガイドマップ作成(常総線全線)1,000千円

PR5M0で常総線の旅に出かけよう!!

駅から始まる、
街歩き!



22年度
導入への
プロセス

沿線利用者がマイカー利用に移行するなどの利用者の減少があるため、利用促進に向けたPR強化を実施する。

沿線ガイドマップによる特典サービス等の付加価値を追加することにより、参加者の増加を図る。

22年度
事業の
効果

地域イベントとの連携による利用促進

各駅をスタート・ゴールとするウォーキング大会を実施。5月、8月、12月、2月の計4回開催した。毎回、沿線各地の名所を巡るコースを設定して行われたが、想定参加人員延べ1200名に対し619名の参加であった(参加率:約52%)。

特典サービスによる利用促進

鉄道や沿線の魅力をPRする沿線ガイドマップを作成。沿線ガイドマップとPASMOを提示することで、掲載各店独自の特典が受けられよう各店に協力を依頼した。

次年度
以降

○今後においては取り組んだ事業について沿線住民の鉄道利用の意識調査を行うなど、利用動向を把握しながら利用促進策を展開していく。

○地域情勢や交通網が年々変化しているため、地域の情報を再度精査した上で、適正な方向性を協議する。

○22年度で地域公共交通・再生化総合事業は終了したため、国・県と相談し今後の事業についての見直しを図る。